

第 19 回 ジュニアかなざわオンライン検定 解答と解説（中学生版）

問題 1

金沢が生んだ三文豪（さんぶんごう）のうち、「幼年（ようねん）時代」「性に眼覚（めざ）める頃（ころ）」などの小説や「犀川（さいがわ）」という詩などを発表した人物はだれか。

- 1 徳田秋声（とくだしゅうせい）
- 2 泉鏡花（いずみきょうか）
- 3 夏目漱石（なつめそうせき）
- 4 室生犀星（むろおさいせい）



室生犀星は仕事場の上司から俳句を教えてもらったことがきっかけで、文学書をよく読むようになった。さらに、新聞に投稿（とうこう）した詩が雑誌に掲載（けいさい）されたことで、文学に対する熱意が高まった。

問題 2

八田與一（はったよいち）は当時アジア最大といわれた烏山頭（うさんとう）ダムや長大な水路を完成させるなど、不毛の大地を豊かな平野に変えたことで知られている。八田與一が活躍（かつやく）した場所はどこか。

- 1 朝鮮半島（ちょうせんはんとう）
- 2 中国
- 3 台湾（たいわん）
- 4 タイ

金沢市出身の八田與一は台湾にわたり、烏山頭ダムを完成させた。その業績はアニメ映画「パッテンライ」でも紹介されている。

問題3

金沢では、山地と平野の間にあるなだらかな地形である丘陵地がいくつか見られる。次のうち、それらを北から順に正しく並べたものはどれか。

- 1 小立野台地 → 卯辰山 → 寺町台地
- 2 小立野台地 → 寺町台地 → 卯辰山
- 3 卯辰山 → 寺町台地 → 小立野台地
- 4 卯辰山 → 小立野台地 → 寺町台地

犀川の南側には寺町台地が広がっており、浅野川の北側には、なだらかな卯辰山があり、2つの河川（かせん）の間には細長く小立野台地が延びている。小立野台地や寺町台地、卯辰山の海側には犀川や浅野川などの河川が運んだ土砂が堆積（たいせき）してできた平野が広がっている。

問題4

1488年（長享2）、加賀国では農民や僧（そう）たちが中心になって一向一揆（いっこういっき）を起こし、高尾城（たこうじょう）を攻撃（こうげき）して守護を滅ぼした。この当時の守護はどれか。

- 1 州崎慶覚（すざききょうかく）
- 2 赤松満祐（あかまつみつすけ）
- 3 富樫政親（とがしまさちか）
- 4 足利義教（あしかがよしのり）

一向一揆の後、守護は力を失い、一向宗の坊主・土豪（どごう）などが加賀国を治めるようになった。守護富樫政親の滅んだ加賀国は「百姓（ひゃくしょう）の持ちたる国」といわれるようになった。

問題5

金沢の市場の歴史は古く、1580年（天正8）に現在の武蔵ヶ辻あたりで朝市が始まり、1721年（享保6）には、市内各地にあった市場が近江町（おうみちょう）に集められた。1966年（昭和41）に、金石街道（かないわかいどう）沿いの西念町（さいねんまち）に、近代的な設備をもつ金沢市中央卸売市場（かなざわしちゅうおうおろしうりしじょう）が作られた。一方、近江町市場は、2009年（平成21）再開発により生まれ変わった。この時、新たに開業した施設は何か。

- 1 近江町いちば館
- 2 クロスゲート金沢
- 3 金沢フォーラス
- 4 かなざわはこまち



近江町市場は、再開発によって「近江町いちば館」が開業し、生鮮食品の販売だけでなく、飲食店や観光案内所、市民ギャラリーなども併設された。観光と地域のくらしがともに支えられている施設である。

問題6

1858年（安政5）、凶作（きょうさく）で米の値上がりに苦しむ人々が藩（はん）の米を出してくれるよう、卯辰山（うたつやま）から金沢城の殿様（とのさま）にさけんで救済をうったえた。このような、当時禁止されていた直訴（じきそ）によって処刑された人たちために作られたものは何か。

- 1 七稻地蔵（なないねじぞう）
- 2 天保義民の碑（てんぼうぎみんのひ）
- 3 寺島蔵人（てらしまくらんど）の墓
- 4 金沢仏壇（かなざわぶつだん）



このさけび声は殿様の耳にも届き、翌日（よくじつ）殿様は藩の米蔵（こめぐら）からお救い米を放出するように命じた。この一揆（いっき）を「泣き一揆」という。

問題7

金沢市の市街地近郊では、米や野菜、果物などさまざまな作物が生産されている。その中で、金沢の風土を活かして生産された「金沢そだち」と呼ばれている作物の組み合わせとして正しいものはどれか。

- 1 さつまいも・にんじん・しいたけ
- 2 だいこん・すいか・なし
- 3 だいこん・さつまいも・いちご
- 4 すいか・じゃがいも・かぶら

「金沢そだち」は、金沢市の風土を活かして生産された優れた農産物を認証する制度である。現在、だいこん、すいか、なし、トマト、きゅうりの5品目が認証されており、地元の農業振興（のうぎょうしんこう）と消費拡大を図っている。

問題8

宮崎友禅斎（みやざきゆうぜんさい）は、京都から金沢に移り住み、金沢に友禅染（ゆうぜんぞめ）を伝え「加賀友禅（かがゆうぜん）」を作り出した。仕上がりまでの工程のうち、生地についている糊（のり）や余分な染料を洗い流す工程を何というか。

- 1 無地染め（むじぞめ）
- 2 虫食い
- 3 友禅流し
- 4 平象嵌（ひらぞうがん）



仕上がりまで14の工程があり、生地についている糊や余分な染料を洗い流す工程は、「友禅流し」といって今でも浅野川などで見られる金沢の冬の風物詩（ふうぶつし）である。

問題 9

金沢市民芸術村は、市民が自主的に企画したコンサートや芸術の練習の場として開放されている。この施設が整備される前、もともこの場所にあった施設は何か。

- 1 紡績工場
- 2 陸上競技場
- 3 小学校
- 4 バスターミナル

金沢市民芸術村は、かつて大和紡績（だいわぼうせき）金沢工場として操業していた紡績工場の跡地を活用して整備された文化施設である。赤レンガ造りの建物を再利用し、市民が演劇や音楽、美術などの芸術活動を行える場として開放されている。

問題 10

江戸時代、加賀藩の下級武士の生活は苦しく、家計を支えるために仕事の合間をぬって、家族とともに内職に励んでいた。下級武士の内職でつくられていたものはどれか。

- 1 そろばん
- 2 げた
- 3 ひな人形
- 4 ちゃぶ台

他にも、生活用品として、お盆用の切り灯籠（きりことうろう）、正月に飾る灯籠（とうろう）や玩具、果物などもつくられた。

問題 11

金沢では、四季折々の和菓子が生活に彩りと美を添えている。その中で、お正月に欠かせない、外の皮をむくと中におみくじが入っている金沢独特の和菓子はどれか。

- 1 金花糖（きんかとう）
- 2 五色生菓子（ごしきなまがし）
- 3 氷室饅頭（ひむろまんじゅう）
- 4 辻（つじ）うら



金沢のお正月に食べられる縁起菓子である。砂糖と餅粉（もちこ）を混ぜて花のような形に包み、中には小さなおみくじが入っている。正月の時期にのみ出回り、金沢近郊で親しまれている。

問題 12

江戸幕府 2 代将軍徳川秀忠（とくがわひでただ）の二女として生まれ、徳川、前田両家を結ぶため加賀藩 3 代藩主前田利常（まえだとしつね）のもとに嫁（とつ）いだ姫はどれか。

- 1 珠姫（たまひめ）
- 2 千姫（せんひめ）
- 3 溶姫（ようひめ）
- 4 亀鶴姫（かめつるひめ）

珠姫は、利常との間に 8 人の子を生んだあと、体の調子が悪くなり 24 歳の若さで亡くなった。亡くなった珠姫は「天徳院」（てんとくいん）と呼ばれ、利常はその名のお寺を小立野につくった。

問題 13

1900 年（明治 33）津田米次郎（つだよねじろう）が発明し、日本初の羽二重〔なめらかでつやのあるうすい絹織物〕を織る機械として、第 5 回内国勸業大博覧会（ないこくかんぎょうだいはくらんかい）に出品され、多大な賞賛（しょうさん）を博したこの機械とは何か。

- 1 くり糸機
- 2 力織機（りきしょつき）
- 3 足踏み式ミシン
- 4 活版印刷機（かっぱんいんさつき）

1918 年（大正 7）には津田米次郎の功績（こうせき）がたたえられ、米次郎の銅像が卯辰山（うたつやま）に建てられた。現在の津田駒工業（つだこまこうぎょう）は米次郎の義理の甥（おい）、駒次郎（こまじろう）がつくったものである。

問題 14

2015 年（平成 27）に北陸新幹線が金沢まで開通し、仕事や観光で金沢を訪れる人が増えた。観光地として人気のある金沢では、まちの観光案内をしているボランティアがいる。このボランティアは、次のうちどれか。

- 1 いんぎらさん
- 2 おんぼらさん
- 3 りくつさん
- 4 まいどさん



「まいどさん」とは、金沢を訪れた観光客に対して、名所や道案内などを行うボランティアである。親しみやすい名称で、観光都市・金沢の魅力を伝える役割を担っている。

問題 15

718 年（養老 2）に立国した能登国（のとのくに）は大きな港があり、早くから大陸との交流を行っていた。日本海の対岸（たいがん）に位置し、能登国と交流していた国とはどこか。

- 1 渤海（ぼっかい）
- 2 新羅（しらぎ）
- 3 契丹（きったん）
- 4 唐（とう）

渤海は唐から独立した国で唐に対抗するため日本との交流を進めたといわれている。

金沢市の戸水遺跡（とみずいせき）・畝田遺跡（うねだいせき）などから渤海交流のあとがうかがえる。

問題 16

金沢には多くの川が流れており、かつては舟によって物資や人が運ばれていた。なかでも加賀藩の年貢米を運ぶために利用された川はどれか。

- 1 大野川（おおのがわ）
- 2 木曳川（きびきがわ）
- 3 森下川（もりもとがわ）
- 4 手取川（てどりがわ）

森下川は、金沢市の北部を流れる小さな川で、かつては舟運に利用され、年貢米などの物資の輸送に重要な役割を果たしていた。

問題 17

近年の発掘調査（はっくつちょうさ）の結果、縄文人が高度な建築技術と深い精神世界を持っていたことが証明されている。日本で初めてクリの巨大木柱根（きょだいもくちゅうこん）350 本以上が発見された金沢の遺跡（いせき）はどこか。



- 1 畝田遺跡（うねだいせき）
- 2 北塚遺跡（きたづかいせき）
- 3 セツ塚遺跡（ななつづかいせき）
- 4 チカモリ遺跡

チカモリ遺跡は全国的にも注目をあび、国指定史跡となっている。毎年、夏休みに「チカモリ縄文まつり」という古代体験まつりが開かれている。

問題 18

兼六園（けんろくえん）は江戸時代の代表的な大名庭園であり、6つの優れた点を兼ね備えている庭という意味で名づけられたといわれている。この名がつけられたのはどの藩主の時代か。

- 1 5代藩主 前田綱紀（まえだつなのり）
- 2 11代藩主 前田治脩（まえだはるなが）
- 3 12代藩主 前田斉広（まえだなりなが）
- 4 13代藩主 前田斉泰（まえだなりやす）

兼六園は一度につくられたのではなく、5代藩主前田綱紀の別荘の茶室や庭が始まりとなり、1759年（宝暦9）の大火で焼失した後、1774年（安永3）11代藩主前田治脩が4つの亭（ちん）や滝を作って庭を復旧させ、12代藩主前田斉広が竹沢御殿（たけざわごてん）を建てた。

問題 19

金沢市は、古くから海産物が豊富で漁業も盛んな町である。漁獲量が多い金沢港に設けられた、地元で水揚げされた新鮮な海産物を直売している施設は何か。

- 1 近江町市場（おうみちょういちば）
- 2 金沢中央卸売市場（かなざわちゅうおうおろしうりしじょう）
- 3 金沢港クルーズターミナル
- 4 金沢港いきいき魚市（うおいち）



金沢港いきいき魚市は、金沢港に隣接する鮮魚市場である。地元で水揚げされた新鮮な魚介類が並び、漁師や仲卸業者が直接販売している。観光客だけでなく、地元の人々にも親しまれており、鮮度と価格の良さが魅力である。

問題 20

馬車鉄道しかなかった金沢に電車が走ったのは 1914 年（大正 3）のことである。市内電車で初めて開通した路線はどれか。

- 1 兼六園下～小立野
- 2 武蔵ヶ辻～香林坊
- 3 金石（かないわ）～長田
- 4 広小路～寺町

1914 年（大正 3）に金石電鉄、1915 年（大正 4）に石川電鉄 [現在の北陸鉄道石川線]、1919 年（大正 8）には金沢停車場～兼六園下間にも電車が開通し、この新しい電車を見ようとする人々が街にあふれた。

問題 21

金沢には、金沢市無形民俗文化財（かなざわしむけいみんぞくぶんかざい）に指定された伝統行事が今もたくさん残っている。斧（おの）や刀、弓を持った山伏（やまぶし）が各家をまわる悪魔払い（あくまばらい）が行われているのはどこか。

- 1 小立野
- 2 東長江町（ひがしながえまち）
- 3 八田町
- 4 大野・金石（かないわ）

各家の悪魔払いをする時には、家の中に入らなばかりの勢いで悪魔を払うまねをするので、子どもたちが泣きさけんで家の奥（おく）に、にげこむ様子が見られる。

問題 22

加賀藩 5 代藩主前田綱紀（まえだつなのり）は、学問を好み、国中の貴重な書物を集めることに力を注ぎ、綱紀自身も勉強したので学者としてもよく知られるようになった。「加賀は天下の書府」とほめたたえた江戸時代の有名な学者はだれか。

- 1 木下順庵（きのしたじゅんあん）
- 2 新井白石（あらいはくせき）
- 3 井上若水（いのうえじゃくすい）
- 4 本居宣長（もとおりのりなが）

前田綱紀の時代を中心に利常の時代から集められた書物は、質・量ともにずば抜けたものとなり、尊経閣（そんけいかく）文庫と呼ばれ、今に残されている。

問題 23

金沢は、藩政時代から今日まで、様々な分野で活躍する人々を育んできた。タカジアスターゼの発明とアドレナリンの発見をした人はだれか。

- 1 木村栄（きむらひさし）
- 2 高峰譲吉（たかみねじょうきち）
- 3 八田與一（はったよいち）
- 4 磯田謙雄（いそだのりお）

タカジアスターゼは、強い消化効力のある胃腸薬（いちょうやく）である。この薬は、微生物（びせいぶつ）を利用した薬づくりの手本となった。

問題 24

日本海から下関をまわり、瀬戸内海を通過して大坂〔今の大阪〕に行く船を、瀬戸内の人々は「北前船」（きたまえぶね）と呼んだ。この北前船の船主は、大坂や瀬戸内からの荷物を、日本海沿いに蝦夷地（えぞち）〔今の北海道〕まで運び、莫大（ばくだい）な利益を上げた。この当時一代で約3百万両にのぼる富を築いたとされる宮越（みやのこし）〔今の金石（かないわ）〕の豪商はだれか。

- 1 木谷藤右衛門（きやとうえもん）
- 2 大野弁吉（おおのべんきち）
- 3 黒川良安（くろかわまさやす）
- 4 銭屋五兵衛（ぜにやごへえ）

この北前船の文化をストーリーとして、文化庁が認定した日本遺産「荒波を超えた男たちの夢が紡いだ（つむいだ）異空間～北前船寄港地・船主集落（ふなぬししゅうらく）～」に2019年（令和元）、金沢市が追加認定された。

問題 25

金沢の気候は、梅雨や台風の時期、そして冬に多くの雨や雪が降るのが特徴である。特に冬の降水量が多いこのような気候を何というか。

- 1 地中海性気候
- 2 亜熱帯気候
- 3 日本海側気候
- 4 高山気候

日本海側の気候は、冬に雪や雨が多く降るのが特徴である。金沢もこの気候に属しており、梅雨や台風の季節にも降水量が多い。こうした気候のため、雪に備えたくらしの工夫が地域に根付いている。

問題 26

兼六園に接し、緑に囲まれた「本多の森」に3棟（とう）の赤レンガづくりの建物がある。この建物は、戦争中は兵器の倉庫として使われ、平和な時代を迎えた1946年（昭和21）からは、金沢美術工芸専門学校〔のちの金沢美術工芸大学〕の校舎として利用されていた。現在、この建物は何に使われているか。

- 1 金沢大学
- 2 石川県立歴史博物館
- 3 金沢能楽美術館
- 4 鈴木大拙館（すずきだいせつかん）



石川県立歴史博物館は、石川の古代から近代までの歴史と文化を紹介する博物館で、1990年（平成2）に重要文化財に指定されている。

問題 27

明治時代のなかば頃には、教室の中での学習だけでなく、さまざまな行事が学校で行われるようになった。ある学校では「撃剣野仕合（げっけんのじあい）」「西洋鬼（せいようおに）」「武者修業（むしゃしゅぎょう）」とよばれる活動が行われた。この行事とは何か。

- 1 運動会
- 2 文化祭
- 3 遠足
- 4 卒業式

このような種目名がつけられたのは、明治時代におこった日清戦争・日露戦争が大きく影響しており、「武者修業」は一瞬で武装を整え、ゴールを目指して走って行く競技のことを指す。

問題 28

1669 年（寛文 9）、加賀では夏から秋にかけ暴風雨（ぼうふうう）のため洪水になった。5 万 8 千石の田が大きな被害を受け、貧乏で生活に困る人がたくさん出た。5 代藩主前田綱紀（まえだつなのり）が、困っている人を収容するために造った施設を何というか。

- 1 養生所（ようじょうしょ）
- 2 明倫堂（めいりんどう）
- 3 経武館（けいぶかん）
- 4 お救（すく）い小屋

お救い小屋は、施設や作業場を設け、乞食（こじき）や浮浪者（ふろうしゃ）、病気で日常生活ができな
い人たちを収容（しゅうよう）した。そして、食料をはじめ夏や冬の衣類を与えて、自立できるように援
助した。当時、全国的にも例のないものであった。

問題 29

高齢化や交通の不便さといった地域の課題を受けて、金沢市ではせまい道でも走れる小型バスを導入し、地域のくらしを支える交通手段を整えている。此花（このはな）・菊川（きくがわ）・材木（ざいもく）・長町（ながまち）の4ルートがあるこのバスはどれか。

- 1 金沢循環（じゅんかん）バス
- 2 ふらっとバス
- 3 金沢まちバス
- 4 兼六園シャトルバス



「ふらっとバス」は、金沢のせまい道にも入り込める小型バスで、通常の路線バスが通らない地域を巡回している。市民の日常的な移動を支える交通手段として、利用価値が高く、多くの人に親しまれている。

問題 30

2014 年（平成 26）、金沢市は「めざすべき金沢の子ども像」をつくり、大切にしたい子どもの姿を示した。これについて、金沢市内の中学生が自分たちにもわかりやすく覚えやすい言葉で表した宣言はどれか。

- 1 金沢子どもまんなか宣言
- 2 金沢子ども人権宣言
- 3 金沢子ども応援宣言
- 4 金沢子どもかがやき宣言

「金沢子どもかがやき宣言」は、「めざすべき金沢の子ども像」をもとに、中学生が考えた宣言である。子どもが自らの生き方や思いを前向きに表現できるよう、覚えやすく親しみやすい言葉でまとめられている。

問題 31

金沢市の東部にある医王山（いおうぜん）や南部の平栗（ひらぐり）では、ニホンカモシカやギフチョウといった、めずらしい動物が見られる。これらの動物がすんでいるのは、自然が多く残されているためである。では、金沢市の面積のうち、森林が占めるおよその割合はどれか。

- 1 約 1 割
- 2 約 3 割
- 3 約 6 割
- 4 約 9 割

金沢は市民にとっても動植物にとっても過ごしやすい場所がいたるところに残された自然豊かなまちである。

問題 32

1925 年（大正 14）、平沢嘉太郎は浅野川電鉄との協力で、巨額の資本を投じ劇場、料亭（りょうてい）、レストラン、動物園、大浴場、野球場などを備えた一大レジャー施設を建設した。この施設が作られたのはどこか。

- 1 栗崎（あわがさき）
- 2 香林坊
- 3 金石（かないわ）
- 4 小立野

この施設は「栗崎遊園」（あわがさきゆうえん）と呼ばれ、川上一郎を座長とする専属の劇団「栗崎大衆座」（あわがさきたいしゅうざ）や宝塚（たからづか）をまねた「栗崎少女歌劇（あわがさきしょうじょかげき）」も組織され、人々の娯楽の場となった。

問題 33

金沢市は、伝統工芸が盛んな地域であり、特に金箔の生産で知られている。金沢市の金箔の生産量は、全国で何位か。

- 1 1位
- 2 2位
- 3 3位
- 4 4位



金沢市は、日本の金箔生産量の約 99%を占める全国第 1 位の産地である。湿度の高い気候や加賀藩時代からの技術の継承が、金箔製造に適している。金沢の金箔は、工芸品や建築装飾、食品など多くの分野で使用されている。

問題 34

金沢の地名は、芋掘藤五郎が金城霊沢で砂金を洗ったことから、その名がついたと伝えられている。その芋掘藤五郎の嫁にきた大和の長者の娘の名前は次のどれか。

- 1 明子（あきこ）
- 2 和子（わこ）
- 3 正子（まさこ）
- 4 令子（れいこ）

芋掘藤五郎の伝説は、奈良時代前期頃に採鉱者（さいこうしゃ）や鋳物師（いもじ）などによって伝えられていった「炭焼き長者」の伝説がもとになって作られたといわれている。

問題 35

金沢では、藩政時代からの文化が今もたくさん残っている。能楽師の大石藤五郎が定着させた、能楽の影響を受けた、ユーモアのある祝いの舞や語りをする伝統文化を何というか。

- 1 加賀獅子
- 2 山王悪魔払い
- 3 加賀万歳
- 4 ジョンカラ節



加賀万歳や八田町のさかたおどりは金沢市無形民俗文化財（かなざわしむけいみんぞくぶんかざい）に指定されている。

問題 36

金沢市は世界の7都市と姉妹都市提携を結び、多くの交流事業を行っている。これら7つの姉妹都市を紹介するコーナーを持つ、駅西新町にある公園は何か。

- 1 金沢国際交流公園
- 2 四十万きずな広場
- 3 額谷ふれあい公園
- 4 姉妹都市公園

姉妹都市公園は、金沢市と姉妹都市提携を結ぶ7都市の文化や風景を再現したゾーンを持つ公園である。各都市の特徴を感じながら、国際交流の大切さや多様な文化について学ぶことができる。

問題 37

1546 年（天文 15）に成立した金沢御堂（かなざわみどう）は、1580 年（天正 8）に猛攻（もうこう）にあつて落とされた。金沢御堂を攻め、そのまま居城（きょじょう）としたのはだれか。

- 1 柴田勝家（しばたかついえ）
- 2 前田利家（まえだとしいえ）
- 3 佐久間盛政（さくまもりまさ）
- 4 佐々成政（さっさなりまさ）

佐久間盛政の次に入城した前田利家がある日、広間の上を見たところ、棟木（むなぎ）に結いつけてある阿弥陀仏（あみだぶつ）を見つけた。盛政の猛攻にあった金沢御堂の坊官（ぼうかん）がとりあえず本尊（ほんぞん）を天井裏に結いつけた後、戦いに走っていったといわれている。

問題 38

華やかな絵付けが特徴の九谷焼（くたにやき）は、金沢を代表する伝統工芸の一つである。その色彩には「九谷五彩（くたにごさい）」と呼ばれる 5 つの色が使われており、作品に独特の美しさと深みを与えている。この九谷五彩の組み合わせとして正しいものはどれか。

- 1 赤・黄・緑・茶・紺青（こんじょう）
- 2 赤・黄・緑・黒・紺青
- 3 赤・黄・緑・紫・紺青
- 4 赤・黄・緑・橙（だいだい）・紺青

九谷焼の上絵付けに使われる「九谷五彩」は、赤・黄・緑・紫・紺青の 5 色である。これらの色は、焼成後に鮮やかな発色を見せ、器に独特の美しさを与えている。この色彩は、九谷焼の特徴である華やかで重厚な絵付けを生み出している。

問題 39

東京オリンピック開催前の開館をめざして、日本海側初の国立美術館として金沢に移転してきたのは次のうちどれか。

- 1 国立工芸館
- 2 国立新美術館
- 3 金沢 21 世紀美術館
- 4 京都国立近代美術館

国立工芸館〔当時の東京国立近代美術館工芸館〕は、2020 年（令和 2）に東京から金沢へ移転し、日本海側で初めての国立美術館として開館した。陶芸・染織（せんしょく）・漆工（しっこう）など日本の工芸作品を展示している。

問題 40

金沢の北部には、弥生時代（紀元前 300 年～紀元後 300 年）に玉造のムラ〔玉をつくる産地〕があり、鉄製の農具や工具が発見されている。それは次のどの遺跡か。

- 1 富樫遺跡
- 2 塚崎遺跡
- 3 小立野遺跡
- 4 森本・東金沢遺跡

弥生人や古墳時代の人々は、碧玉（へきぎょく）〔宝石の一種〕製の管玉（くだたま）をネックレスとして使っていた。これは、おしゃれのためというよりも呪術的（じゅじゅつてき）な意味が込められていたと考えられている。

問題 41

金沢市では、スポーツを盛んにすることで、まちの活力を高めようとしている。2018 年（平成 30）金沢市スポーツ文化推進条例により、スポーツを行うことに加え、ホームタウンチームと市民が交流できるような活動の支援を積極的に進めている。金沢市のホームタウンチーム金沢武士団（かなざわさむらいず）のスポーツの種目はどれか。

- 1 野球
- 2 サッカー
- 3 バレーボール
- 4 バスケットボール



金沢武士団という名称は一般公募（いっぱんこうぼ）で多数あったキーワード「金沢」「武士」「サムライ」から名付けられた。

問題 42

城下町の金沢と他の町や地域を結ぶ街道には、北国街道とそれに連なる脇街道があった。北国街道でも泉新町、犀川大橋を通過って福井方面に行く道は何と呼ばれたか。

- 1 北口
- 2 上口（かみくち）
- 3 下口（しもくち）
- 4 南口

金沢城下（かなざわじょうか）の北国街道は上口と呼ばれる泉新町から、犀川大橋-片町-香林坊-南町-堤町（つつみちょう）-尾張町（おわりちょう）-橋場町-浅野川大橋を通過り、下口と呼ばれる大樋町を通過ていく。

問題 43

古墳時代は、4～7世紀頃、豪族が権力の大きさを古墳の大きさや形で表そうとした時代である。金沢市で作られた一番大きな古墳はどれか。

- 1 北塚町おまる塚古墳（きたづかまちおまるづかこふん）
- 2 南塚町びわ塚古墳（みなみづかまちびわづかこふん）
- 3 長坂二子塚古墳（ながさかふたごづかこふん）
- 4 才田町おちん山古墳（さいだまちおちんやまこふん）

長坂二子塚古墳は一番大きな古墳であったが、区画整理により消滅した。

問題 44

1689 年（元禄 2）、松尾芭蕉（まつおばしょう）は「奥の細道（おくのほそみち）」の旅の途中、金沢に立ちよった。そのときに、芭蕉は金沢のある俳人（はいじん）の菩提寺（ぼだいじ）に参ったが、その俳人だれか。

- 1 小杉一笑（こすぎいっしょう）
- 2 秋の坊（あきのぼう）
- 3 亀田小春（かめだしょうしゅん）
- 4 立花北枝（たちばなほくし）

松尾芭蕉は、小杉一笑の死を悼（いた）んで、「塚（つか）も動け わが泣く声は 秋の風」という句をよんだ。

問題 45

金沢市内には何本かの川が流れ荷物の流通に使われた。宮腰（みやのこし）〔今の金石（かないわ）〕から主に木材を運ぶために使われたのは何川か。

- 1 桂川（かつらがわ）
- 2 木曳川（きびきがわ）
- 3 木津川（きづがわ）
- 4 木曽川（きそがわ）

木曳川では名前のとおり木材が運ばれ、終点は木倉町であった。

問題 46

加賀藩では、代々の藩主たちが、武士のたしなみとして積極的に能楽を取り入れた。加賀藩5代藩主前田綱紀（まえだつなのり）が江戸幕府5代将軍徳川綱吉（とくがわつなよし）の影響を受けて、能楽を愛好（あいこう）し、加賀のついた名前で栄えた。それはどの流派か。

- 1 金春（こんばる）
- 2 喜多（きた）
- 3 宝生（ほうしょう）
- 4 観世（かんぜ）



加賀宝生といわれ、金沢では能は庶民の楽しみの一つとしても広まった。

問題 47

加賀藩 3 代藩主前田利常（まえだとしつね）は、藩の安定した税〔米の年貢〕を手に入れるために新しい農政を考えた。次のどれか。

- 1 農政新法
- 2 農業新政
- 3 改作仕法
- 4 改農新法

改作仕法により、藩士（はんし）たちは農民から勝手に税を取ることができなくなった。また、藩は新田開発に力を入れるようになり、加賀藩の基本農業制度となった。

問題 48

加賀藩 14 代藩主前田慶寧（まえだよしやす）は加賀藩の人々が豊かに生活できるようにと卯辰山の開発に取り組み、様々な施設を作った。オランダ医学者の黒川良安（くろかわまさやす）が中心となった診察所、製薬局、調剤所などが備えられた施設はどれか。

- 1 養生所（ようじょうしょ）
- 2 撫育所（ぶいくしょ）
- 3 卯辰神社
- 4 所作所（しょさしょ）

養生所に治療（ちりょう）に来る人たちの中でも極（きわ）めて貧（まず）しい人たちは、その衣食代や薬代は無料とされた。

問題 49

加賀藩 3 代藩主前田利常（まえだとしつね）が、京都から五十嵐道甫（いがらしどうほ）、江戸から清水九兵衛（しみずくへい）などの名人をまねいて、技術（ぎじゅつ）を伝えたのが始まりといわれている、漆塗り（うるしぬり）の上に金や銀で絵模様（えもよう）をえがいたものを何と呼ぶか。

- 1 加賀蒔絵（かがまきえ）
- 2 加賀友禅（かがゆうぜん）
- 3 加賀象嵌（かがぞうがん）
- 4 加賀繡（かがぬい）



加賀蒔絵は江戸蒔絵のはなやかさとはちがい、京都の伝統と加賀の武士の文化をミックスさせた、とても格調高いものになった。

問題 50

金沢市は、2023 年（令和 5）に国連環境計画の「都市生態系再生モデル都市」として認定されるなど、生物多様性のために様々な計画を進めてきた。市内の子どもや大人が協力し、毎年、ある昆虫の調査を行い、生息地図をつくっているが、その昆虫は何か。

- 1 はち
- 2 カブトムシ
- 3 ミミズ
- 4 ホタル

金沢市ではホタルの生息調査をもとに「ホタルマップ」を作成しており、観察をとおして、身近な自然の大切さや豊かさを学習することができる。

第 19 回ジュニアかなざわオンライン検定解答（中学生版）

問題	解答	問題	解答
1	4	26	2
2	3	27	1
3	4	28	4
4	3	29	2
5	1	30	4
6	1	31	3
7	2	32	1
8	3	33	1
9	1	34	2
10	3	35	3
11	4	36	4
12	1	37	3
13	2	38	3
14	4	39	1
15	1	40	2
16	3	41	4
17	4	42	2
18	3	43	3
19	4	44	1
20	3	45	2
21	4	46	3
22	2	47	3
23	2	48	1
24	4	49	1
25	3	50	4

※当検定の写真、イラストなどを著作権者の許可なしに複写・複製・転載することは、法律で認められた場合を除き、かたくお断りします。

写真提供者一覧（敬称略・順不同）

金沢市、北陸スポーツ振興協議会株式会社